



# 日本FIX委員会トレーディングサミット ～金融資産デジタル化への取組について～

2021/10/7

SBIホールディングス 執行役員ブロックチェーン推進室長

SBI R3 Japan 代表取締役CEO

藤本 守

# デジタル金融資産のヒートマップ（当社想定）

発行体規模	金融商品			その他資産	
	株式・Equity	債券・Debt	不動産	ゲーム	アート
大規模	<b>上場株式</b> ・ 過当競争 ・ 流動性は高い	<b>流動性の高い債券</b> ・ 過当競争 ・ 流動性は高い	<b>REIT/ 個人投資家</b> ・ 確立された市場だが、 非効率で仲介手数料 が高い	<b>ゲームの 暗号資産取引</b> 巨大なゲーム市場 の中における新し い市場機会	<b>絵画投資</b> ・ 法人や個人富裕層に 限定されている ・ デイラー・収集 家・美術館のための 運転資金
中規模	<b>プライベート キャピタル</b> ・ 付加価値のあるPE/ VC / エンゼル投資 ・ IPO前 ・ 流動性が低いため、 スプレッドは広く仲 介手数料も高い	<b>私募債/ 地方債・社債</b> ・ 地方債・中規模社債・CP ・ 従来型銀行融資・売掛債権 ・ 未発達、ないし高い仲介コス ト	<b>個人不動産投資</b> ・ 銀行や不動産業者 による寡占 ・ 高い仲介手数料		<b>絵画投資</b> ・ 芸術家による、作品 の直接販売の市場の 提供 ・ デイラー・収集 家・美術館のための 運転資金
小規模	<b>クラウド ファンディング</b>	<b>銀行融資/ マイクロレンディング</b>	<b>住宅・ 不動産ローン</b>		<b>アーティストの クラウドファン ディング</b>

ターゲット  
市場

高信用リスク

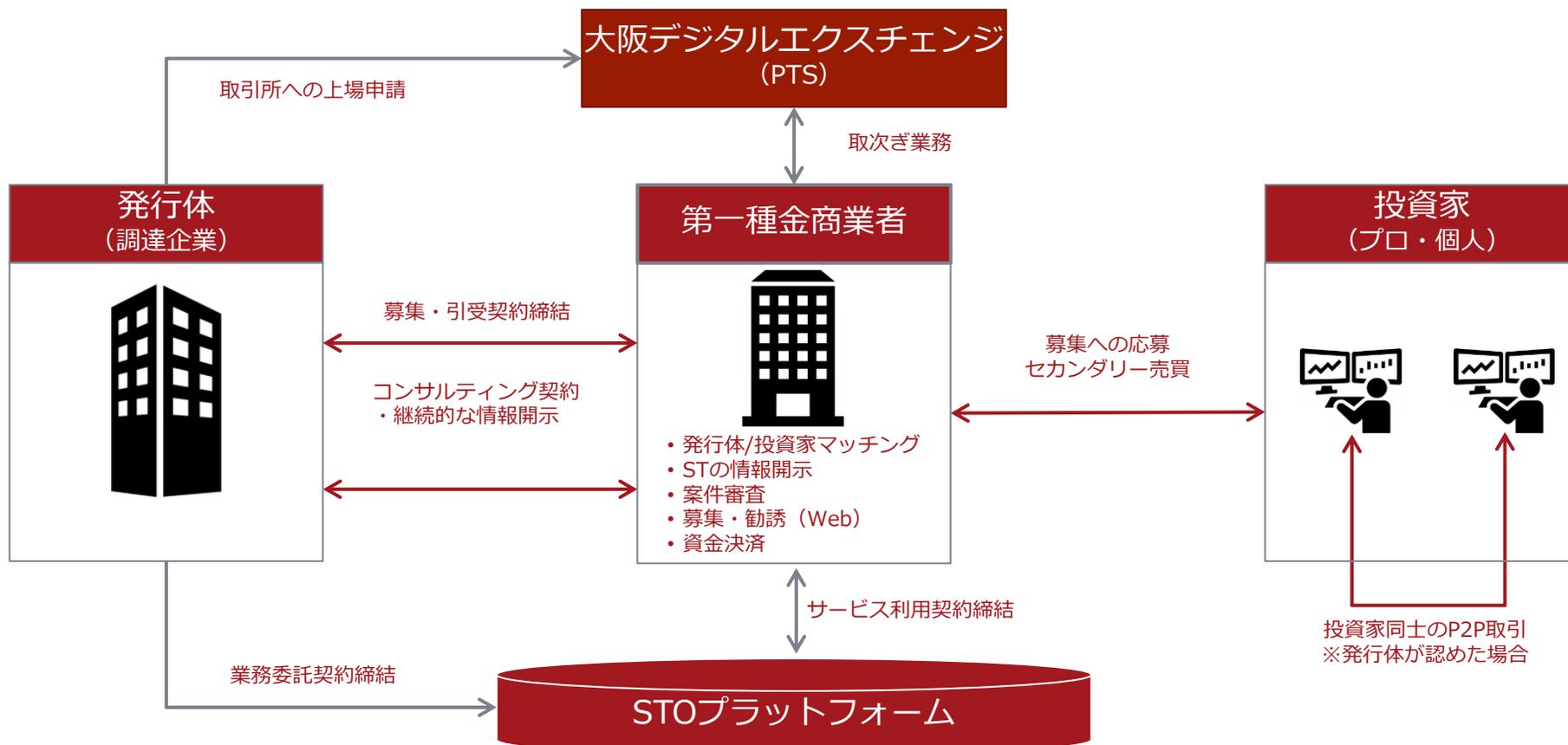
過当競争

非効率・  
未発達

未開の  
“Blue Ocean”

# SBIが考える STOビジネスの全体像

- 証券会社等が間に入ることによる**安全性の担保**
- STO市場の拡大を目指した**セカンダリーマーケットの整備**



トークンの発行・管理を担うシステム（従来の“ほふり”に相当）

# R3が参加するデジタル資産関連の取り組みは商用化進展中

